

未来にとどけ、私のやさしさ

* 本紙の特集事例をよりくわしく解説！ あわせてご活用ください。

先生方へ
やまびこだより
No.166・167
今号の特集から

未来につなぐ3つの言葉

おかげさま

おもてなし

もったいない

世界に広がる
もったいない
「MOTTAINAI」

身の回りの
もったいない
「MOTTAINAI」を
考えてみましょう!

「MOTTAINAI」をなくすくらしとは、

アール リスペクト もったいない
3R + Respect = MOTTAINAI



Reduce…リデュース：ゴミを少なくする

Reuse……リユース：モノを繰り返し使う

Recycle…リサイクル：資源として再利用する

Respect…リスペクト：尊敬、感謝の念

「もったいない」と同じ意味の言葉は英語や他の国の言葉にもありません。日本人の伝統的な生活スタイルである、ものを繰り返し使い大切に作る「MOTTAINAI」キャンペーンが、世界中で行われるようになりました。



ノーベル平和賞を受賞したケニアの環境保護活動家・ワンガリ・マータイさんは、日本の「もったいない」という考え方をとても気に入り、地球環境にやさしい生活のスタイルとして、「MOTTAINAI」とそのままの言葉で世界に広める活動を始めました。

特集のねらい

未来の人の暮らしに目を向ける

毎日の便利な暮らしは、どのように成り立っているのでしょうか。私たちの暮らしは、たくさんの人たちの仕事、サービスやもの、自然の資源などの恩恵も受けています。その半面、暮らしの豊かさや便利を追求することで、地球の温暖化など地球規模の課題もあげられています。

お互いに支え合う社会や自然環境が、私たちの未来まで続けていくために、私たちは何ができるかを考えます。

相手のことを考え、行動する言葉

日本には、相手のことを考えて行動する3つの言葉がくらしの中に根づいています。それが「おもてなし」「おかげさま」「もったいない」です。この3つの言葉には、私たちの未来の暮らしへのアクション

につながるヒントがあります。

ケニアの環境副大臣で、2004年に環境分野で初めてノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさんが、日本語の「もったいない」を世界に提唱しました。マータイさんが、世界に向けて発信した「MOTTAINAI(もったいない)」をなくす暮らしは、3R+Respect=MOTTAINAIです。Reduce(リデュース:ゴミ削減)、Reuse(リユース:再利用)、Recycle(リサイクル:再資源化)という環境活動の3Rに、Respect(リスペクト:感謝、尊敬の念)を加えています。

SDGsとエシカル消費

貧困、紛争、テロ、気候変動など、様々な社会的課題の解決に向けて、「誰一人取り残さない」をキーワードに、2030年までに達成すべき目標がSDGsです。

目標12の「つくる責任 つかう責任」は、持続可能な方法で生産し、消費する取り組みを進めること。この目標を達成するために私たちができることのひとつが、エシカル消費です。

「エシカル(ethical)」とは、英語で「倫理的・道徳的」という意味です。相手のことや自然のことを考えて行動する気持ちの形「おもてなし」「おかげさま」「もったいない」の意味合いも含んでいます。

私たちが、ものを買ったり選ぶときに、「人を傷つけていないかな」「地球に負担をかけていないかな」などを考えて選んだり、行動したりすることは「エシカル消費」といえるでしょう。

長野県では、環境、人・社会、地域への配慮に加え、健康長寿県として「健康」にも配慮した「長野県版エシカル消費」を推進しています。

エシカルな取り組みを知ろう

「エシカル(ethical)」とは、「倫理的・道徳的」という意味があります。
「エシカル消費」は、人や社会、環境に配慮したものやサービスを選んで消費することです。

やさしさと思いやりの エシカル消費で世界を変えよう！

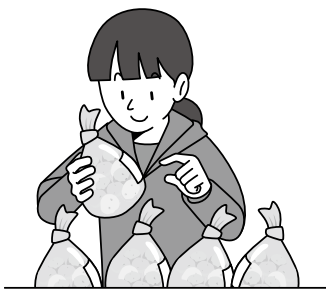
ものやサービスを選ぶとき、「人を傷つけていないかな」「地球に負担をかけていないかな」などを考えれば、それは全て「エシカル消費」です。

「私の買い物なんて微々たるものだし……」と思う人もいます。

実は日本の経済全体(GDP: 国内総生産)の約6割が家計の支出です。個人の消費が社会に与える影響は、決して小さくありません。

私たちの「買う／買わない」という選択は、社会を変える力を持っています。

まずは、ふだんの買い物で「似合うかな?」「おいしいかな?」「値段は?」などと考えるのと同じように、「どこでつくられたのかな?」「環境にやさしいかな?」といった“エシカルな目線”を加えてみてください。それが世界を変える「エシカル消費」の第一歩です。



相手のことや自然のことを考えて
行動する気持ちの形、
「おもてなし」「おかげさま」「もったいない」の
意味合いも含んでいます。



SDGs とエシカル消費

12 つくる責任
つかう責任



つくる責任 つかう責任

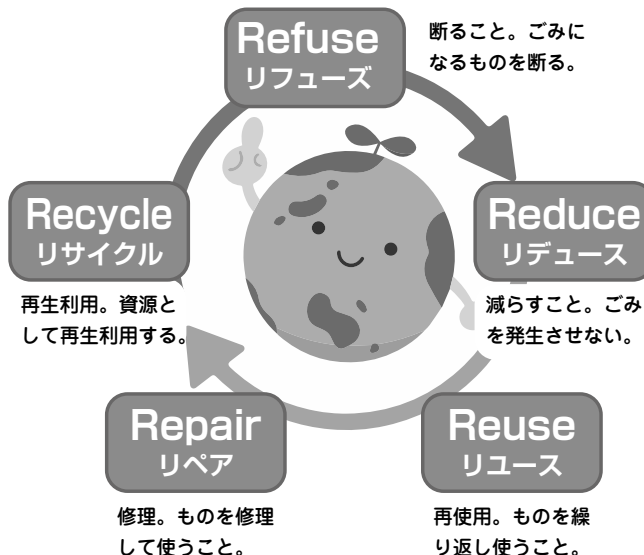
持続可能な方法で生産し、
消費する取組を進めよう。

SDGsは、貧困、紛争、テロ、気候変動など、様々な社会的課題の解決に向けて、世界中の様々な立場の人々が話し合い、解決方法を考えた「誰一人取り残さない」をキーワードに、2030年までに達成すべき目標のこと。

この目標を達成するために私たちができること、それがエシカル消費です。

実践しよう！ お買い物の5R

ごみを減らし、資源を有効に利用することは、環境への負荷が少ない「資源循環型社会」の実現につながります。



エシカルなラベル・マーク いろいろ

無理せずにエシカル消費をするために身近にみかける認証ラベルやマークの一部を紹介します。



国際フェアトレード認証ラベル

フェアトレードとは、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」です。国際フェアトレード認証ラベルは、経済・社会・環境の3つの柱を持つ国際フェアトレード基準が守られていることを示します。(チョコレート、コーヒー、洋服など)



フェアトレード商品とは

安価な商品の裏側には立場の弱い開発途上国の生産者が、過酷な労働や児童労働を強いられていることがあります。そこで生まれたのが開発途上国で作られた商品を適正な価格で継続的に取引する「フェアトレード商品」です。



長野県版エシカル消費

Ethical Style Nagano
長野県版エシカル消費

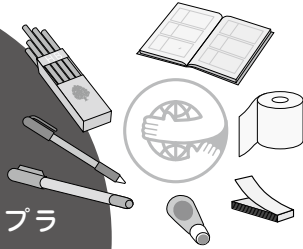
<https://www.nagano-shohi.net/ethical/about/>

あなたの消費行動によって、社会は、未来は少しずつ変わります
長野県では、環境、人・社会、地域に加え、健康長寿県として「健康」にも配慮した「長野県版エシカル消費」を推進しています！



環境に 配慮した消費

地球温暖化、森林の減少、プラスチックによる海洋の汚染など、様々な環境問題に配慮する

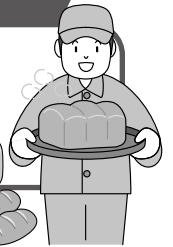


- 必要なものを必要なだけ買う
- エコな商品を選ぶ(グリーン購入)
- 森林資源・水産資源保全

人・社会に 配慮した消費

開発途上国などで過酷な労働や、児童就労問題、不公正な取引など、生産者や労働者、社会問題に配慮する

- フェアトレード製品を選ぶ
- 福祉作業所などの製品を買う
- 寄付付き商品を選ぶ



地域に 配慮した消費

地元の商品や災害があった地域の商品、伝統工芸品を購入することで、地域に配慮する



- 地元の商品を買う
- 被災地などの商品を購入する
- 伝統工芸品を購入する

健康に 配慮した消費

塩分控えめ、野菜たっぷりの食事、運動や検診につながる消費行動で健康に配慮する

- 塩分控えめ、野菜多めの食事を心がける
- 公共交通機関を利用し、歩いてお買い物
- 健康診断・人間ドックを受ける



エコマーク
ライフサイクル全体を考慮して環境保全に資する商品を選定し、表示する制度。幅広い商品(物品、サービス)を対象。



レインフォレスト・アライアンス認証
持続可能な農業や栽培を推進している農場を認証するための制度。(コーヒー、紅茶、チョコレート等)



信州プラスチックスマート運動
海へ流れ込む河川の「上流県」として、県内でプラスチックの削減等に取り組む事業者を登録。



FSC® 認証
国際的に知られる森林認証制度。責任ある森林管理から生産される木材とその製品を識別。(本、ティッシュ、トイレトペーパーなど)



RSPO (持続可能なパーム油のための円卓会議) 認証
熱帯林の環境や生物の多様性に配慮し、生産者の暮らしを守る商品を選定。(食品、洗剤、化粧品など)



信州シカ肉認証制度
信州ジビエ衛生管理ガイドライン・衛生マニュアルに沿った適切な信州産シカ肉の処理・加工・販売を実施している施設を認証する制度。



MSC 認証 (海のエコラベル)
持続可能で環境に配慮した漁業で獲られた天然の水産物にのみ使用しています。(鮭、たらこ、缶詰、フィッシュソーセージなど)



FSC® 認証
国際的に知られる森林認証制度。責任ある森林管理から生産される木材とその製品を識別。(本、ティッシュ、トイレトペーパー等)



信州リサイクル製品
県内で発生した廃棄物を利用し、県内の事業所で製造加工され、所定の品質や安全性の基準を満たすリサイクル製品を認定。

できることからはじめよう!

フードドライブ

フードドライブとは、各家庭で使い切れない未使用食品をあつめて、地域の福祉施設・団体、支援を必要とする人へ届ける活動です。子ども食堂にも、フードドライブから寄せられた食品をつかって、ご飯をたくさん子ども達が食べられるように使われることもあります。

「○」集められる食品は、

賞味期限が1か月以上あるもの

- 未開封のもの ●包装や外装が破損されていないもの
- 日本語表記されているもの ●常温保存できるもの【保管ができる食品】
- 缶づめ ●レトルト食品

主食になるパスタやお米、調味料、お菓子など。

「×」集められない食品は、

袋が空いているものや消費期限の過ぎているもの

“もったいない”を“ありがとう”へ



学用品や衣服をリユース

学校で使うけれど、少しの時間しか使わないものや、サイズが合わなくなってしまふ制服など、まだまだ使えるものを活用していく仕組みです。

ふくふくひろば

上田市社会福祉協議会
子ども服の無料リユース事業

「まだ着られる服を捨ててしまうのはもったいない」「気に入っていたけれどサイズが小さくなってしまった」「必要としている方に届けてほしい」……そんな声を受けて、ふく(服)とふく(福)がつながって、みんなが笑顔になれるお手伝いのできたらと考え、「ふくふくひろば」を上田市ふれあい福祉センターに設けることになりました。



もったいない交流会

長野市更北地区
住民自治協議会

3月から毎月第1水曜日に、更北支所で開催。原則、地区内の幼稚園や中学校の制服や体操服の寄付おながいし、必要な人が持ち帰る仕組み。あわせて、来た人たちの交流も行っています。



回る回るハウス

回る回るハウス
実行委員会(長野市)

卒業や学年が変わって、まだ使えるけれど、使わなくなった学用品やランドセル、文房具、参考書、制服などを必要な人に譲る活動をしている場所です。

運営している小林さんは、「制服や文房具などは、次の使う人のためにと持ってきてくれます。ここは回る回るハウス、相手のことを思い、やさしさも一緒につながる場所になっています」と話します。

制服リユースの 取り組み

伊那市内の各中学校

伊那市の各中学校を卒業した皆さん!

制服等のリユースに御協力ください。

伊那市の各中学校では、使用しなくなった制服等を回収し、必要とする在校生に活用してもらう「リユース(再使用)」に取り組んでいます。

皆さんのご家庭に使用しなくなった制服等がありましたら、ぜひ、御提供ください。

取組学校：伊那中学校、東部中学校、西箕輪中学校、香取中学校、高遠中学校

回収物品：制服、体操着等

回収場所：各中学校

詳細は、下記までお問合せください。

〇問合せ先
各中学校 又は 伊那市教育委員会学校教育課
(☎0265-78-4111、内線2713)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

12 持続可能な消費と生産

15 持続可能な都市とコミュニティ

17 気候変動

協力：木祖村立木祖小学校、上田市立北小学校、松本市立安曇中学校、須坂市立東中学校

令和5年3月発行 発行：社会福祉法人 長野県社会福祉協議会 まちづくりボランティアセンター
〒380-0936 長野県長野市中御所岡田98-1
TEL.026-226-1882 FAX.026-227-0137
E-mail vcenter@nsyakyo.or.jp URL http://www.nsyakyo.or.jp/

